

# 第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/25】

## 男子Bリーグ戦

大阪選抜

8

2	－	1
1	－	5
1	－	0
4	－	3

9

三重県選抜

PSO

塚本 龍一

審判：

松本千菜津

## この試合のプレー集計

大阪選抜	22	SH数	20	三重県選抜
	1	速攻数	2	
	7	ST・SB	3	
	7	SH・P誘発アシスト	6	
	38%	GK阻止率	27%	
7	EX反則数	3		

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

## 【試合の流れ】

両チームともに山口に惜敗し、決勝トーナメント進出には負けない一戦。大阪はエース⑤仁木にボールを集めて、その得点力で活路を見出したいところ。対する三重はそうした大阪の攻撃パターンを読み、大阪側のリズムを分断して優位に立ちたいところ。攻撃力は互角な状況で、ディフェンス対応でのミスが勝負を分かれ目となりそうな予想展開。

### 【1P】

開始早々、大阪がペナルティを誘発し、エース⑤仁木が決めて大阪が先制。さらに⑤仁木がセンターSHを決めて、大阪ベンチのボルテージが急上昇。しかし、三重も落ち着いて退水を誘発し、その場面を⑨山内が確実に決めて1点を返す。その後、双方、しっかり守る水球を展開し、第1ピリオドは大阪2－1三重で終了。

### 【2P】

センターボールからの攻撃で三重のシュートのこぼれ球を三重が拾い、そこを④山本が詰めて三重が同点に持ち込むと、ペースは三重に。大阪のディフェンスが甘く、三重が十分にボールを保持して攻撃できる状況の中、⑨山内がトップ位置近くから決めて逆転。さらに⑦小坂も同様の位置から当たりに来ないディフェンスを尻目に4点目をマーク。こうなると完全に三重ペースでカウンター攻撃で追加点。大阪はキープ力のあるエース⑤仁木にボールを集め、何とか打開しようとするが、それ以上に三重の攻撃に晒され、このピリオドは大阪1－5三重と引き離されてしまった。大阪3－6三重で前半を折り返した。

### 【3P】

長いラリーが続いたが、大阪がエース⑤仁木を軸にしたパスワークで退水を誘発。その好機に、⑦赤木が押し込んで、ようやく三重の流れを止めた。そうなると大阪も勢いが復活。しっかりディフェンスもするようになり、このピリオドは大阪無失点で切り抜けた。大阪4－6三重という2点差で第3ピリオド終了。

### 【4P】

追撃する大阪が先手を取りたいところだったが、双方、決定的な場面にまで攻撃が繋がらずに一進一退の攻防となった。ピリオド中盤に大阪側の攻撃で時間を空費させた三重センター②伊藤が絶好のポジショニング。そこに⑤森下からパスが入って三重が追加点をマーク。焦る大阪攻撃を三重GK①道上がスチールしてから三重③山崎が前に出てペナルティを誘発。そこを④山本が決めて4点差に広げた。残り2分を切って、大阪は⑤仁木が連続得点して2点差に詰め寄ったが、残り1分で三重④山本が退水を誘発したタイミングでタイムアウト。ここで④山本が決めて3点差に広げてほぼ安全圏に。最後は懸命に粘る大阪が連続得点して追い詰めたが及ばず、大阪8－9三重で試合終了。三重が決勝トーナメント進出を決めた。

大阪としてみれば、三重に泳がれずに終始大阪ペースでの試合展開となっただけに、第2ピリオドでの⑤仁木の6mシュートミスからの連続失点が敗因となった形だ。それだけ三重側は⑤仁木をゴール前に入れて高いポジションに留めたことが功を奏した形となった。